

授業科目	＊人文学入門(再履修者用)					実務家教員担当科目	－				
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	Malcolm Ross Swanson／Kristen Maree Sullivan／太田 かわり／西原 真弓／塚本 美紀／ブラウン馬本 鈴子／Andrew Zitzmann／高野 基子										
授業概要	人文学とはどういうものか、人文学部で学ぶ意味は何か、人文学部で具体的にどういう事柄を学ぶのかなど、4年間の学びの土台となることを学び考える授業です。授業計画の「進行」で、担当者の回が変更になることもあります。										
授業形態	対面授業				授業方法	ディスカッション、グループワーク					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	人文学の基本的な知識を身につけ、それを自分の学びへの意識向上につなげることができる。										
理想的レベル	人文学の基本的な知識をよく理解し、学部・学科で学ぶ上での様々な問題を考えるときに応用することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験											
小テスト											
レポート			80				授業後レポート（8回、1回10点）				
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他			20				授業への取り組み姿勢				
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	－	DP3	－	DP4	○	DP5	－	ナンバリング	－
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
復習：当該部分の復習										4	
授業計画											
第1回	人文学の現状を学ぶ（塚本）										
第2回	人文学の取り組み方を学ぶ（西原）										
第3回	人文学の魅力を学ぶ（サリバン）										
第4回	人文学の特徴を学ぶ（太田）										
第5回	人文学の諸相を学ぶ（ジッツマン）										
第6回	人文学の基礎を学ぶ（ブラウン馬本）										
第7回	人文学への多面性を学ぶ（スワンソン）										
第8回	人文学の可能性を学ぶ（高野）										
テキスト	教科書は使用しない。適宜資料を配布する。										
参考図書・教材	授業中に適宜提示する。										

／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	授業後レポートについては Google Classroom の機能を用いてコメントをする。 授業中の取り組み姿勢については口頭でコメントをする。
学生への メッセー ジ・コメ ント	人文学部の学生にとって、知識を得たり考えたりするうえで、読書は基本になるので、読書の習慣をつけましょう。